

精神疾患を持った労働者に対する
多職種連携によるアプローチ

職域における
精神科医のかかわり



医療法人渡辺クリニック 院長

精神科専門医・認定産業医 渡辺 洋一郎

公益社団法人日本精神神経科診療所協会会長
一般社団法人日本精神科産業医協会共同代表

◆本発表に関連して開示すべき利益相反に該当する項目はありません。

職域メンタルヘルスへの精神科医の関わり方

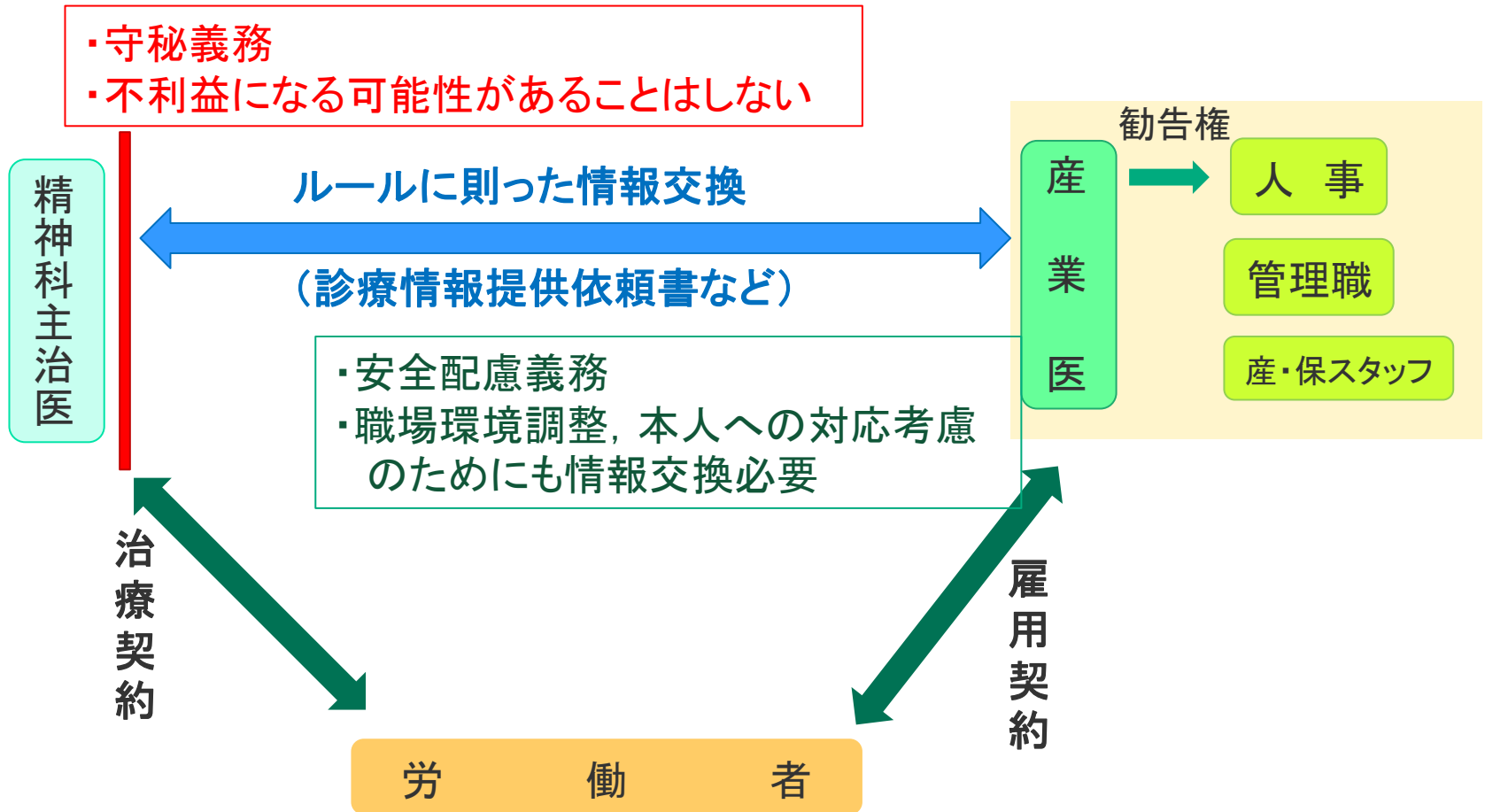
●事業場外資源として

- ①本人の自由意志による受診
→ 治療者としての役割
- ②事業者，産業医などからの指示による受診
→ コンサルテーション あるいは 治療者としての役割
- ③事業場からの依頼による面接（長時間労働，ストレスチェック）
→ 事業場の囑託医的な役割

●事業場内スタッフとして

- ①産業医，または，精神科担当産業医として関与する

治療者としての精神科医と職域との関わり

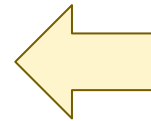


事業場内資源としての精神科医の役割

■心の健康づくり専門スタッフとして

- 心の健康の保持増進計画の企画・立案及び評価
- 事業者への専門的立場からの助言
- 職場環境等の評価と改善によるストレスの軽減
- 従業員，管理監督者等に対する情報提供及び教育研修
- 従業員，管理監督者からの相談への対応と保健指導
- 休職，復職の判断
- 外部医療機関等との窓口
- 職場適応，職場復帰の支援
- 就業上の配慮についての意見
- 長時間労働者への面接指導
- ストレスチェックの実施と面接指導，事後措置の意見具申

職場メンタルヘルスの専門家として



職場メンタルヘルスの専門家として精神科医

「事業場内資源」かつ「職場メンタルヘルスの専門家」としての精神科医



精神科産業医

精神科産業医の目標

◆労働者個人への対応のみならず，職場全体へかかわる。

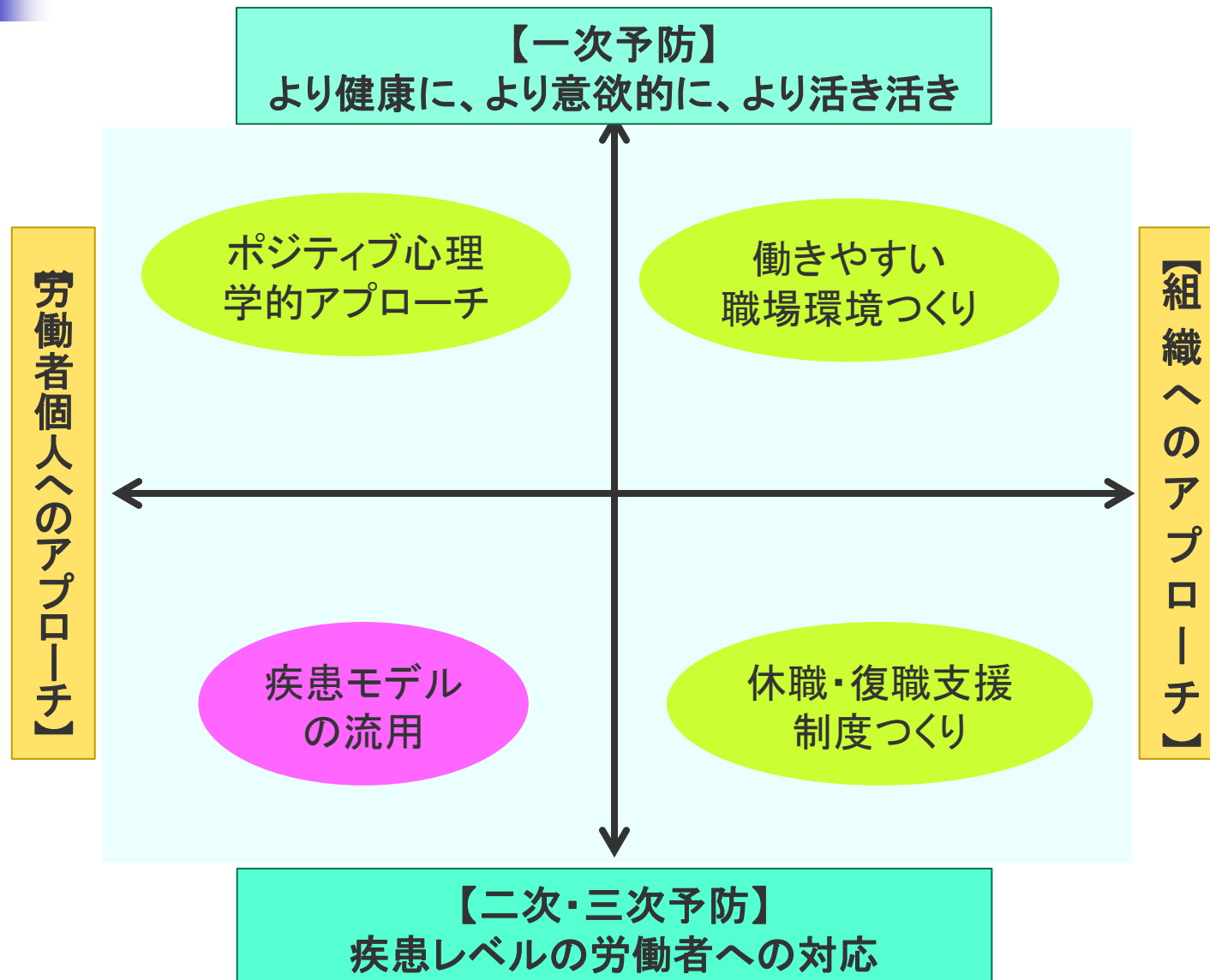
- 多様性と個性を尊重する職場風土づくりを促す。
- 職場における良好な人間関係づくりを促進する。
- 労働者の個性，適性にあった配置，組織づくりを促す。



◆全ての労働者が，精神的により健康な状態で就労できるように支援する。

その結果として，企業の健全な発展に寄与する。

事業場内資源としての精神科医の役割



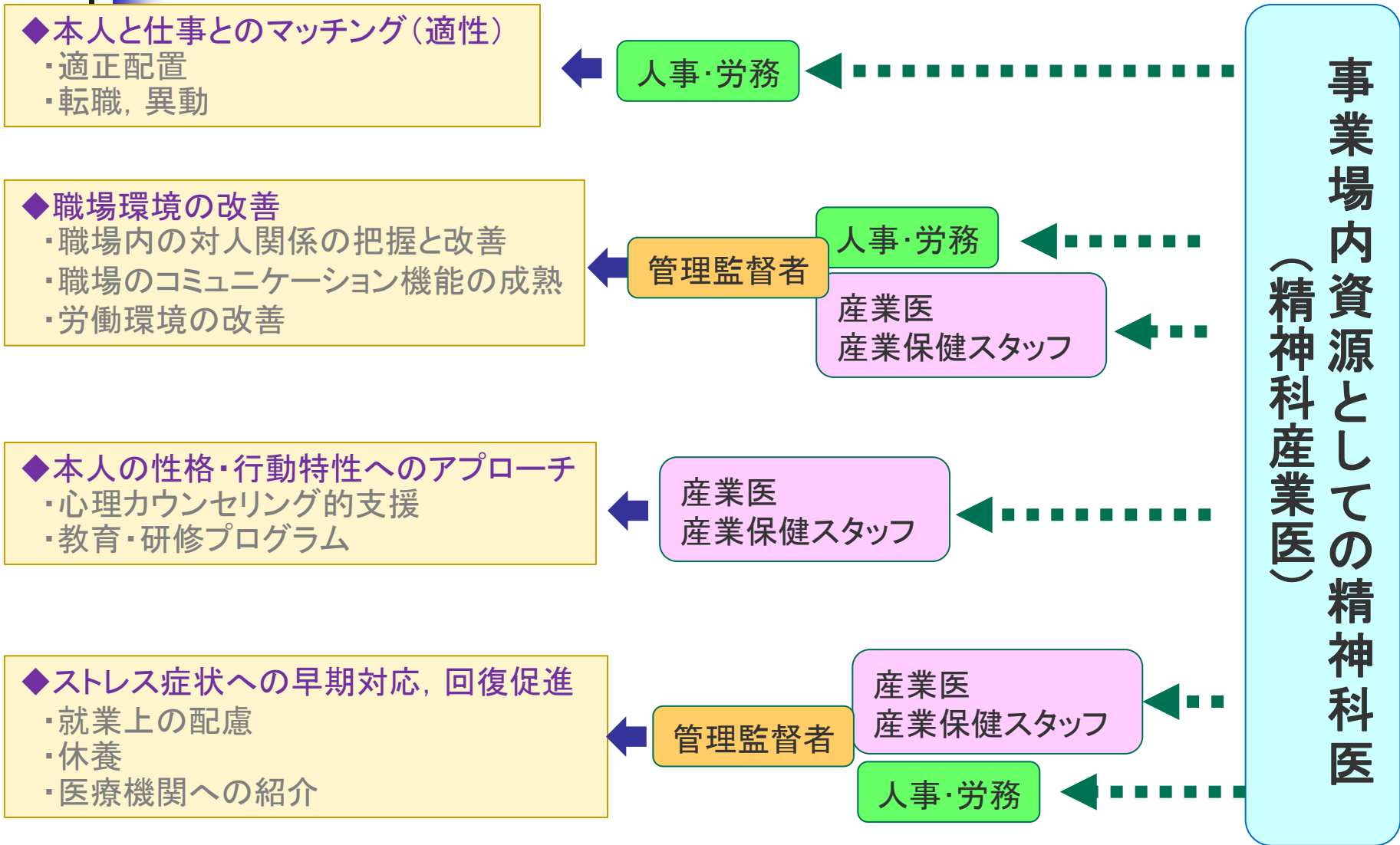
事業場内資源としての精神科医に求められる機能

- 企業全体のメンタルヘルス体制を企画し、各担当者を支援、指導する機能
- 多面的なアセスメント能力
 - ・ 知的機能, 情緒面における発達特性, 体質などを含めた生理因子的視点
 - ・ 対人関係, 行動特性, 適性, 価値観などを含めたパーソナリティ的視点
 - ・ 職場の物理的環境, 労務管理体制, 職務内容, 労働形態, 上司との関係を中心とする職場内の人間関係などを中心とした環境因子的視点
- 人間関係, コミュニケーションの良い職場環境づくりへの支援する機能
- 労働者の意欲を高めるポジティブ心理学的な見識
- 労働者の適性を把握し, パフォーマンスを十分に発揮させる調整能力とスキル
- 労働者, 管理職, 人事労務スタッフ, 産業保健スタッフなど労働者を取り巻く関係者全体の精神力動を把握し, 調整する集団心理学的な視点とスキル
- 一次予防, 二次予防, 三次予防のすべてにかかわる機能とスキル
- 医療機関とのネットワーク
- 労働法規的知識, 人事労務管理的知識
- 企業内関係者, 外部支援機関等と守秘義務をわきまえた上で連携をはかるスキル



関係機関, 関係組織, 関係者, 多職種との連携機能が不可欠

職域メンタルヘルス充実のために 職場で必要な機能と担当者



関係者の連携を成功させるために

連携を図る = 「チーム」として機能する

- 「チーム」とは？ → 「目的」を同じくして機能する集団
- 目的が一致していなければ連携はなりたたない

「チーム」として機能するためには

- それぞれがそれぞれの立場と役割で、**共通した目的意識**で、メンタルヘルス不調者、職場メンタルヘルスに関わること
- 目的は何か？

**労働者がより健康になる
そしてその活力が企業にとっても有用に働くこと**



最後に

職域にかかわる精神科医は

- 従来の疾病論的視点を超えて
- 関係機関，関係者，多職種との連携のもと
- 労働者のよりよい適応を促し
- 人間関係を中心とした職場環境の改善を図る役割を果たし
- 労働者個人の精神的健康と
- ひいては企業の健全な発展に寄与できる存在

となることが求められる。



ご清聴ありがとうございました。

